

個人会員の皆さまへ

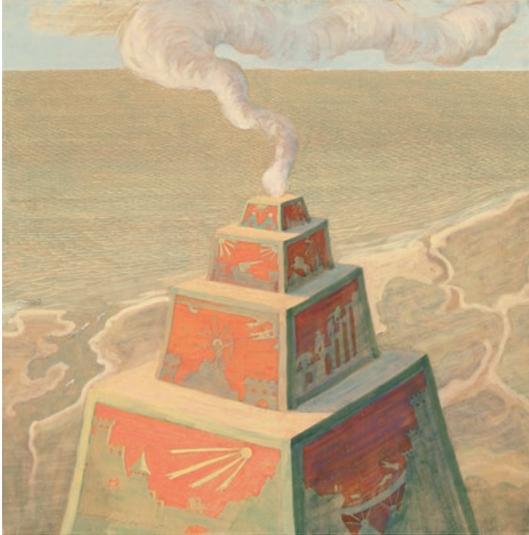
# ご応募お待ちしております。招待券プレゼント！

応募フォームは協会ホームページの会員専用ページ内にあります。

応募期限は毎月20日、厳正に抽選して当選者を決定します。(初回申込者を優先いたします。)

## ① | チュルリョーニス展 内なる星図 5組

リトアニアの国民的芸術家、34年ぶりの大回顧展



ミカロユス・コンスタンティナス・チュルリョーニス《祭壇》1909年、テンペラ/厚紙、国立M. K. チュルリョーニス美術館（カウナス）所蔵  
M. K. Ciurlionis National Museum of Art, Kaunas, Lithuania.

リトアニアを代表する芸術家、ミカロユス・コンスタンティナス・チュルリョーニス（1875-1911）。祖国リトアニアにおける生誕150周年の祝賀ムードを引き継いで開催される本展は、日本では34年ぶりの回顧展。国立M. K. チュルリョーニス美術館（カウナス）が所蔵する主要な絵画やグラフィック作品、約80点を紹介する。

人間の精神世界や宇宙の神秘を描いた幻想的な作品の数々、音楽形式を取り入れた連作や、自身の手になる楽譜、展示室に流れる旋律をとおして、優れた作曲家でもあった画家の個性と感性が体感できる。2000年以降、再評価の機運が高まるチュルリョーニスの世界をぜひ堪能していただきたい。

期 間 3月28日(土)～6月14日(日)

9:30～17:30 ※金・土曜日は20:00まで

※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 月曜日、5/7(木)

※3/30(月)、5/4(月・祝)は開館

観 覧 料 一般2,200円、大学生1,300円、高校生1,000円

\*中学生以下、障害者手帳持参の方とその付添者（1名）無料/学生証等年齢の確認できるもの、障害者手帳の提示が必要

会 場 国立西洋美術館  
企画展示室 B2F

東京都台東区上野公園7-7

TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)



## ② | 西洋絵画400年の旅 2組 | 一珠玉の東京富士美術館コレクション

16世紀のルネサンスから20世紀の近現代美術まで



ジャック＝ルイ・ダヴィッドの工房  
《サン＝ベルナル峠を越えるボナパルト》1805年 油彩・カンヴァス

1983年に東京都八王子市に開設した東京富士美術館は、国内外で制作された幅広い時代の絵画・版画・彫刻・写真・陶磁器等を約3万点収蔵する。とくに西洋絵画コレクションは、16世紀のイタリア・ルネサンスから20世紀の近現代美術までを網羅し、国内屈指の充実度を誇る。本展では同館の所蔵品から選りすぐられた80点あまりの西洋絵画を展覧する。

西洋では伝統的に神話画や宗教画が高尚な絵画ジャンルとして重視されたが、近代になると斬新な絵画主題の開拓や、造形表現そのものの革新へと画家たちの関心が移っていった。名画を通して、西洋絵画400年の歴史をご堪能ください。

期 間 3月20日(金・祝)～5月24日(日)

10:00～18:00

※入館は閉場の30分前まで

休 館 日 月曜日

※5/4(月・祝)は開館

観 覧 料 一般2,000円、高大生1,500円、小中生500円

\*未就学児、障がい者手帳提示の方本人及び介護者1名まで(要証明)無料  
\*学生料金で入場の場合は学生証の提示が必要

会 場 京都市京セラ美術館  
本館 北回廊 1階

京都市左京区岡崎門勝寺町124

TEL.075-771-4334



#チュルリョーニス#生誕150周年#レックス(王)#国立西洋美術館

#ヴァン・ダイク#カナレット#モネ#セザンヌ#マグリット

会員IDやパスワードがご不明な場合は、日本建築協会総務課  
(soumu@aaj.or.jp) までお問合せください。  
招待券は当協会より郵送でお届けいたします。  
当選発表は招待券の発送をもってかえさせていただきます。

information

③ | ブルックリン博物館所蔵  
2組 | 特別展 古代エジプト

掘り起こせ、三千年の謎



《神官ホル（ホルス）のカルトナージュと  
ミイラ》（部分）前760～前558年頃  
ブルックリン博物館蔵  
Photo: Brooklyn Museum

ブルックリン博物館  
が誇る古代エジプト  
コレクションから、選  
りすぐりの名品群が大  
阪・あべのに集結する。

彫刻、棺、宝飾品、  
陶器、パピルス、そし  
て人間やネコのミイラ  
など約150点の遺物を通  
じて、私たちの想像を  
超える高度な文化を創  
出した人々の営みをひ  
も解く。

謎に満ちた三千年をと  
もに旅する案内人は、気  
鋭のエジプト考古学者、  
河江肖剰（かわえ ゆき  
のり）。

人々はどんな暮らし  
を営み、何を食べ、何を  
おそれていたのか。彼ら  
はどんな言語を話し、何  
を書き残したのか。ピラ  
ミッドはなぜ、どのよう  
にして作られたのか。ミ  
イラに託されたメッセー  
ジは、そして死後の世界  
とは。

これまでのエジプト展  
で見過ごされてきた「知  
っているようで知らない  
事実」から最新技術を使  
ったピラミッドの研究成  
果まで、映像や音声も交  
えて紹介する。

期 間 3月20日（金・祝）～6月14日（日）  
火～金10：00～20：00、月土日祝10：00～18：00  
※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 3/23（月）  
観 覧 料 一般2,300円、大学・高校生1,800円、  
中学・小学生500円  
\*団体料金（15名以上）は各200円引き  
\*障がい者手帳を提示の場合、美術館カウンターで  
チケット購入時、本人と付き添い1名まで当日料金の半額

会 場 あべのハルカス美術館  
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43  
あべのハルカス 16F  
TEL.06-4399-9050



#ブルックリン博物館#古代エジプト#人間やネコのミイラ

④ | 生誕185年 ルノワール展  
5組 |

コレクション約50点を一挙公開



《読書 赤とローズのブラウスを着た二人の女性》  
1918年、山王美術館

60年におよぶ画家生活のなかで、肖像、風景、静物、家族、裸婦とさまざまな主題に取り組んだルノワール。すべてに共通しているのは、温かく、愛情に満ちた眼差しが注がれているということだろう。ルノワールにとって、生きることは描くことであり、描くことは悦びであったといえる。

前衛的な画家グループである印象派を出発点としながらも、絵画の伝統に学び、つぎることなく探求をつづけたルノワール。生誕185年を記念した本展では、山王美術館のコレクション約50点を一堂に公開し、その画業の一端をたどる。

光と色彩、生きる歓びにあふれたルノワールの世界を、ぜひお楽しみください。

期 間 3月1日（日）～7月31日（金）  
10：00～17：00  
※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 火曜日、水曜日  
※4/29、5/5・6は開館  
観 覧 料 一般1,300円、大学・高校生800円、中学生以下500円  
（保護者同伴に限り2名まで無料）  
\*一般料金以外は学生証の提示が必要

会 場 山王美術館  
大阪市中央区城見2-2-27  
TEL.06-6942-1117



#ルノワール#生誕185年#幸福の画家#印象派#裸婦像